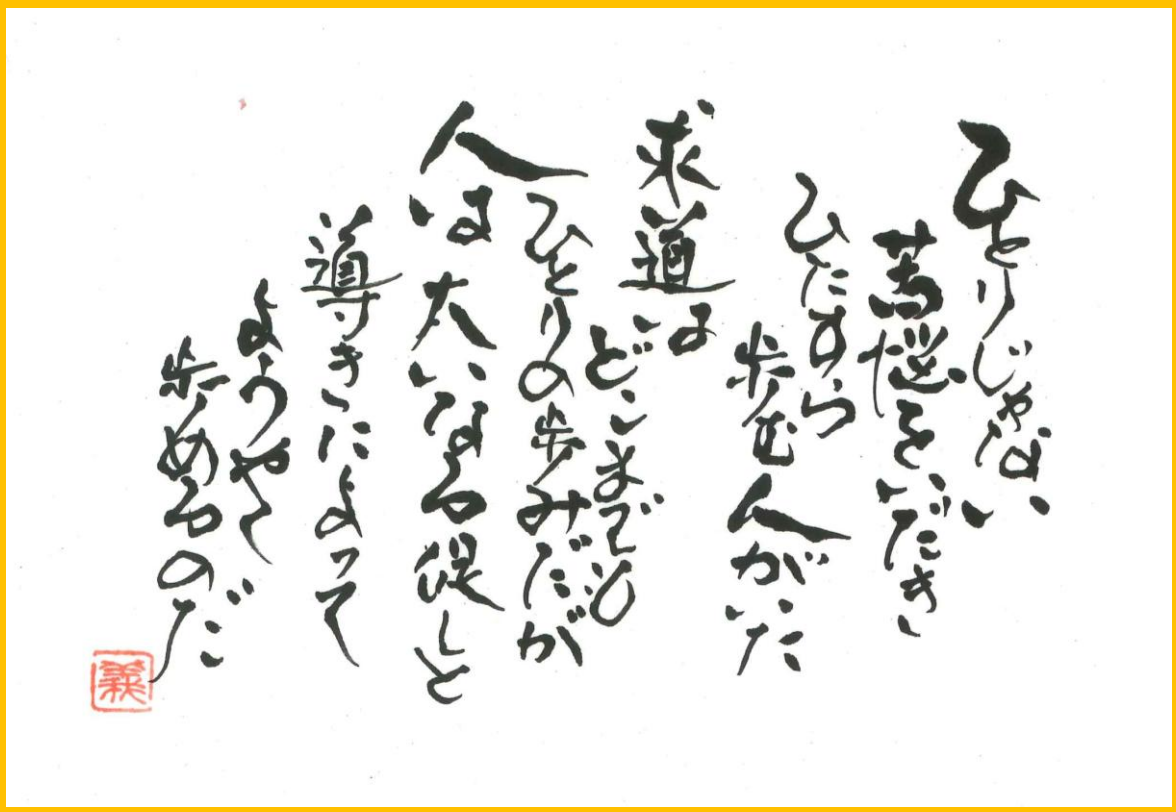
生きる

真宗大谷派　存明寺通信

NO.234

２０２６年（仏歴 2557 年）11 月２日



人と生まれて　教えに出遇う

たとえひとりぼっちという孤独を感じることがあったとしても、どこかで誰かが苦悩を背負いながらも、ひたすらに歩んでいる…、そんなことを感じることができたなら、どれだけ人は励まされることだろう。

生きていくということは、どこまでもひとりの歩みだが、死別や病気や老いなどの出来事を私への「大いなる促し」として受け止め、言葉や世界や教えを「大いなる導き」としていただきながら、人は、ようやく歩み出していくことができるのだろう。

そんな終わりなき歩みを、いま、共に。

住職　**義**





上）秋のお彼岸法要　下）樹心の会 10 月

存明寺慶讃法要企画

親鸞さまへの手紙

慶讃法要の企画のひとつが「親鸞さまへの手紙」。ご門徒の皆さんから親鸞さまへの手紙を書いていただき、その文章をひとつの手紙にして、ＢＧＭの歌詞を聞きながら朗読をします。

慶讃法要が、親鸞さまに出遇う出発点になれば、と願っての企画です。（存明寺）



親鸞さまへの手紙

〈BGM 流れる〉

♪生きてゆくことの意味
問いかけるそのたびに
胸をよぎる
愛しい人々のあたたかさ

竹内まりや『いのちの歌』

親鸞さま、あなたは一体どんな方だったのですか。自分に厳しく、けっして他者を見捨てないという教えは、８００年たった今でも私たちを導いてくださっています。生き方そのものが教えなのだと感じています。

これまで幾多の先達があなたの背中を追って歩んできたのですね。直接あなたの背中を見ることは叶いませんが、先達の背中の光におられるあなたを思い、歩みたいと願っています。

親鸞さまの教えをよく聞きます。その中で気づいたことを大切にします。

存明寺にうかがうと心が落ち着きます。門徒の方々にお会いすると幸せに包まれます。讃歌『回向』を歌うと涙が出そうになります。門徒の皆さまの感話を聞くと新たな気づきがあり、うなずいてしまいます。

いつもいい教えをいただき、笑顔で暮らしています。また智慧をいただきたいです。

教えに出遇ったこと。存明寺にご縁を頂いたことに感謝です。

ご縁により親鸞さまの教えに出遇えました。その教えは私の道しるべ。

出遇えて本当に良かった。これからの人生が深まっていく予感がしています。

光に照らされた言葉たちを大事に抱えて生きていきます。

〈BGM 流れる〉

♪いつかは誰でも
この星にさよならを
する時が来るけれど
命はつながれてゆく

生まれてきたこと
育ててもらえたこと
出会ったこと
笑ったこと
そのすべてにありがとう
この命にありがとう

竹内まりや『いのちの歌』

親鸞さまのお言葉で自分と出遇い、親鸞さまのお言葉に支えられ、励まされ、親鸞さまのお言葉で明日も頑張ろうという生きる力をいただきます。この世に「いのち」を賜ったことの喜びをかみしめています。

親鸞さま、ありがとうございます。

おわり



存明寺慶讃法要をお迎えして　《住職日記》

▼3回の大法要

浄土真宗には三つの大きな法要があります。親鸞聖人の五〇年ごとの御遠忌法要、蓮如上人の五〇年ごとの御遠忌法要、そして、今回の慶讃法要（親鸞生誕と立教開宗法要）です。

▼私にとっても3回目

ここ存明寺でも、蓮如上人五百回忌は、客殿落慶法要と住職就任披露を兼ねて1998年に。親鸞聖人七五〇回忌は、本堂整備事業を兼ねて2012に行われました。そして2026年慶讃法要をお迎えします。私にとっては三度目の大きな法要ということになります。

▼人生最後の大法要？

ちなみにこの法要を逃すと、22年後の2048年の蓮如上人の五五〇回御遠忌法要まで大きな法要はありません。その時私は89歳になっています。私にとっては今回が最後の法要になるかもしれません。

▼ご門徒とともに作る法要を

だらこそ、ご門徒とともに、ていねいにこの法要をお勤めしたいのです。ずいぶん前から法要への打ち合わせを重ねてきました。そして色々な企画が決まり、準備を進めています。



▼その企画とは

企画は、①音楽法要。一年前から毎月特訓中です。②ポエム企画。右ページに完成形を初披露。③私の出遇った大切な一言。それぞれが出遇った言葉と歩みが伝わってきます。④朗読劇。初日の交流会で披露。「二人のパンタカ」です。⑤子ども食堂出店。3日の祝賀会でキーマカレーを振舞います。⑥記念誌出版。慶讃法要の記録を、未来の人たちへ。以上の6企画が進行中です。

▼準備を楽しむ

早めに準備作業は進みました。8月には、法要で拝読する表白や住職メッセージが完成。しかし、次から次へと作業が出てきて、なかなか終わりません。「準備を楽しむ」そんな言葉が頭に浮かびます。楽しまねば（汗）

▼寺離れの時代

現代は寺離れ・仏教離れの時代、儀式の簡略化も進んでいます。しかし、世の中は争いや迷いや闇が深まっています。そのような時代だからこそ、迷い多き人間を照らす教えは、ますます輝きを放つことでしょう。いよいよ浄土真宗の出番なのです。

▼未来の人たちへ

未来の人たちへ。人の世が続く限り、人間は迷いや濁りを重ねることでしょう。でもだからこそ人間を照らす灯は輝くのでしょう。

未来の人たちへ。ここに道がある。そのことを是非ともつないでいきたいのです。

慶讃法要とは、人と生まれた私たちが、私を照らす教えに出遇うという、はじまりの法要なのです。

（住職　釋諦信）

◆おみがきのつどい御礼（敬称略）

甘田富子　甘田栄一　井ケ瀬惠子
内井照江　内野洋子　岡田　真
岸木　勉　熊﨑尚登　小林和子
佐藤尚宏　佐藤友成　末次皓子
関口昌雄　髙橋昭彦　高橋由美子
竹谷タケ子　長島巖　長谷川静美
藤井俊五　藤井良子　堀之内雅子
本多秀行　持田直範　山田政孝
安田幸弘　吉山浩文　酒井あゆみ
酒井大樹　酒井瑠美　酒井結沙
酒井浩美　酒井義一

合計32名　10月23日に実施

お寺のひろば　２０２６（令和８）年～２０２７（令和９）年

２０２６（令和８）年　お寺のひろば

11月14日（土）14時　樹心の会
存明寺慶讃法要を振り返って①
内容：勤行・感話・班別座談・全体会
12月12日（土）14時　樹心の会
存明寺慶讃法要を振り返って②
内容：勤行・感話・班別座談・全体会
12月19日（土）14時　グリーフケアのつどい
大切な方を亡くした人へ
同じ体験をした人びとのつどい

慶讃法要後の特別企画

仏教讃歌を聞くつどい（仮称）

2027年（令和9年）
6月6日（日） 時間未定

会場：存明寺本堂にて
出演：北海道教区女声合唱団マユーラ
指揮：武田龍太郎さん（合唱連盟委員長）
ピアノ：武田章子さん（北海道教区）



２０２７（令和９）年　お寺のひろば

1月1日（金） 10時　修正会
勤行・年頭法話・乾杯・書初め・お汁粉
3月2日（火）13時　おそうじの日
3月13日（土）14時　樹心の会
3月21日（日） 11時と13時　春のお彼岸法要
3月27日（土）14時　グリーフケアのつどい
4月10日（土）14時　樹心の会
4月26日（月）10時　おみがきのつどい
5月3日（月） 12時　永代経法要
講師：海法龍さん（東京教区）
5月15日（土）14時　樹心の会
6月12日（土）14時　樹心の会
6月26日（土）14時　グリーフケアのつどい
7月10日（土）11時　新盆法要
7月13日（火）11時と13時　おぼん法要
9月11日（土）14時　樹心の会
9月17日（金）13時　おそうじの日
9月23日（木） 11時と13時　秋のお彼岸法要
9月25日（土）14時　グリーフケアのつどい
10月9日（土）14時　樹心の会
10月25日（月）10時　おみがきのつどい
11月2日（火）14時　報恩講のゆうべ
3日（水）12時 報恩講法要
講師：広瀬　俊さん（大阪教区）
11月13日（土）14時　樹心の会
12月11日（土）14時　樹心の会
12月18日（土）14時　グリーフケアのつどい
※真宗聖典輪読会・こども食堂・こども会・子育てサロンも定期的に活動中です。

【あとがき】

▼いよいよ慶讃法要がやってきます。法要は二日間なのですが、この二日間のためにどれだけの時間を費やしたことか。それが実感。
▼ご講師へのご依頼、案内文の作成、ご門徒との打ち合わせ、やるべきことが次々と出てきて、気ぜわしい毎日です。しかしそれが大きな法要を勤める側の醍醐味？と受け止めています。
▼たくさんの準備作業を経て、最後に準備することは何でしょうか。それは、主催者である私が、慶讃法要への参詣者のひとりに立ち返るということです。私が教えに出遇うための法要、それが慶讃法要。ていねいにお勤めします。

住職　**酒井義一**



東京都世田谷区北烏山4-15-1
真宗大谷派 存明寺（ぞんみょうじ）
住職　酒井 義一（釋諦信）
〒157-0061　TEL 03-3300-5057
FAX 03-3300-5880
E-mail：sakai@zonmyoji.jp